

特 別 展

ふ せ の み ず う み

うらぐわし布勢水海

— 十二町瀉の考古と民俗 —

敬和遊覽布勢水海賦一首

宇良具波之

布勢能美豆宇彌爾

令和5年**10月20日**(金)~**11月12日**(日)

氷見市立博物館 特別展示室 午前9時~午後5時

休館日 月曜日 (10月23日・10月30日・11月6日)

資料解説会 **10月21日(土)** 午後2時より〈参加自由〉

観覧
無料

考古と民俗から読み解く十二町潟

氷見市南部に位置する十二町潟は、奈良時代には布勢^{ふせの}水海^{みずうみ}と呼ばれ、越中国守大伴家持^{おおもとのやかもち}が舟を浮かべて遊覧したことで知られています。その家持による「布勢水海に遊覧する賦^{じょうおとのいけぬし}」への返歌として、越中掾大伴池主が詠んだ長歌に「うらぐはし布勢水海に」の一節があります。「うらぐはし」とは、心に染み入り、えもいわれず美しい様を表します。布勢水海は、都人をはじめ多くの人びとの心をとらえたのです。

平成17年の特別展「水辺の人びと」で布勢水海を取り上げてから18年、この間、能越自動車道建設などによって実施された発掘調査や、民具の寄贈などを通じて、布勢水海に関する考古学的、民俗学的な知見を新たに得ることができました。

あらためて布勢水海をテーマとする本特別展では、考古学的、民俗学的な話題を通して、布勢水海とその折々の人びとの暮らしについて紹介します。



上久津呂中屋遺跡 イルカ形土製品
(富山県埋蔵文化財センター蔵)



園カンデ窯跡 焼き歪んだ須恵器



稲束を満載した潟舟タズル。岸にあるのは稲担ぎ用の台
(昭和30年代頃)



キザ（籤） 換え用のキザ棒

氷見市立博物館

〒935-0016 富山県氷見市本町4番9号
TEL.0766-74-8231 FAX.0766-30-7188
E-mail : hakubutsukan@city.himi.lg.jp
U R L : <https://www.city.himi.toyama.jp/section/museum/>

●交通機関

鉄 道 / JR 氷見線氷見駅下車、北西へ500m 徒歩7分。

バ ス / 高岡駅前から加越能交通バス氷見方面行、「南大町口」下車、徒歩1分。

自動車 / 能越自動車道氷見インターから東に3km。

●氷見市立博物館は、氷見市教育文化センター内にあります。

